

ネイチャーセンターだより



春国岱・風蓮湖 生きもの図鑑

メダイチドリ

英名：Mongolian Plover 学名：Charadrius mongolus



夏にシベリアなど北方で繁殖し、冬はオーストラリアや東南アジアに渡り、越冬をする旅鳥です。日本に春と秋の移動の途中に休憩のため立ち寄ります。

夏羽のときはオレンジ色の胸元と目を縁取る黒い模様が特徴です。干潟をせわしなく走り回り、泥の中からゴカイやカニなどを探し出して食べます。



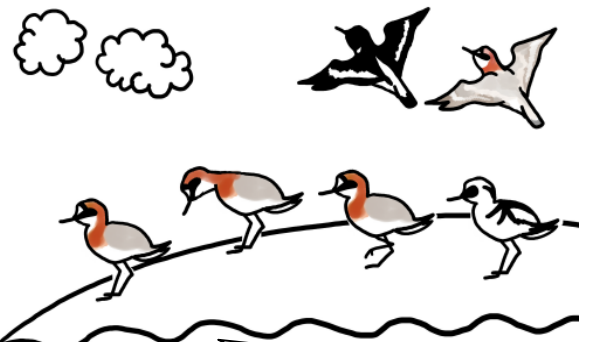
ネイチャーセンター日記

先日、どのくらいのシギやチドリが風蓮湖に渡ってきているのかを数える調査を行いました。湿地を走り回るシギ・チドリを遠くから望遠鏡でのぞき、種類ごとに数を数えます。多いときは百羽を超える群れで行動する彼らを見分けるのは、とても大変。どんな模様をしているのか、くちばしが長いか短いか、歩き方はどうなのか……。それぞれの種類の特徴を一羽一羽しっかりと見分ける作業は、まるで間違いない探しのようなものでした。

風蓮湖でたっぷりと休息した彼らは、これから更に南を目指して旅を続けます。無事に南の国に着き、来年もまた、この風蓮湖で元気な姿を見せてくれるといいですね。

～春国岱クイズ～

今月の「生きもの図鑑」で紹介したメダイチドリ。下の絵の中に何羽いるか数えてみよう。



ヒント

ボクと同じ模様のものを探してね！
(空にもいるよ)



答えは来月号

(先月号の答え 図A)

ネイチャーセンターからのお知らせ

海の観察会「海辺の生き物を見つけにいこう」を開催しました

8月8日(土)9:00から、海の生き物の観察会「海辺の生き物を見つけにいこう」を開催しました。当日は天気にも恵まれ、大人と子ども合わせて17名の参加がありました。

ネイチャーセンターで海辺についての簡単なお話を聞いたあとは、早速、干潟へ出発です。それぞれタモ網とバケツを持って、ネイチャーセンター前の干潟に海辺の生き物を探しに行きました。

はじめのうちは、なかなか生き物を捕まえられませんでした。水底をすくってみたり、水草や岩影をさぐってみたりと工夫を重ねるうちに、いろいろな生き物を見つけることができるようになってきました。砂や泥でできた干潟、そして岩の多い磯場の2つの環境で、夢中で生き物を捕まえ、ずぶ濡れになる子もいました。

捕まえた生き物の一部はネイチャーセンターに持ち帰り、観察をしました。スナエビやヘラムシをはじめ、カレイやカジカ、ギンポの稚魚など、自分の捕まえたお気に入りの生き物たちを図鑑で調べ、スケッチをしました。

最後に、ネイチャーセンターの水槽に生き物を入れ、みんなの描いたスケッチを貼って活動は終了です。たくさんの生き物でにぎやかになった水槽は、「風蓮湖水族館」と名づけられ、ネイチャーセンター1階に展示しています。是非、ご覧ください。



ボランティアの活動

■ 自然学習林に花名看板を設置します ■

ボランティアグループ「スルク」では、ネイチャーセンターでのイベントの企画や自然観察路の修繕などの活動を行っています。その活動の一環として、ネイチャーセンター横の自然学習林に花名看板を設置することになりました。これは、自然学習林の小鳥の小道に、いつ、どのような花が咲くのかを、来訪者にお知らせするための看板です。この看板の製作・設置にご協力いただける方を募集しています。ご興味のある方は、ネイチャーセンターまでお問い合わせください。

フィールドボランティア募集中！！

風蓮湖・春国岱で活動しませんか？

春国岱では、野鳥や自然の調査や観察会などを行うボランティアスタッフを募集しています。いつからでも、経験がなくても始められますので、気軽にお問合せください。

対象：高校生以上

保険料：300円(年間)が必要となります。



【お問合せ】電話 0153-25-3047

自然観察路周辺の自然情報 * 9・10月 *

オジロシ



少数が北海道に残り子育てをします。魚を求めて干潮時の干潟に降りている姿が見られます。

エゾリス



クルミの実がなる季節になると、エゾリスの姿を見る機会が増えます。地上に落ちているクルミを拾って食べる様子や、冬に備え、地面に穴を掘って埋める様子が観察できます。

タンチョウのつがい



ハマナスの実

花の時期を終えたハマナスが、真っ赤な実をつけます。展望塔より先の第一砂丘で多く見ることができます。

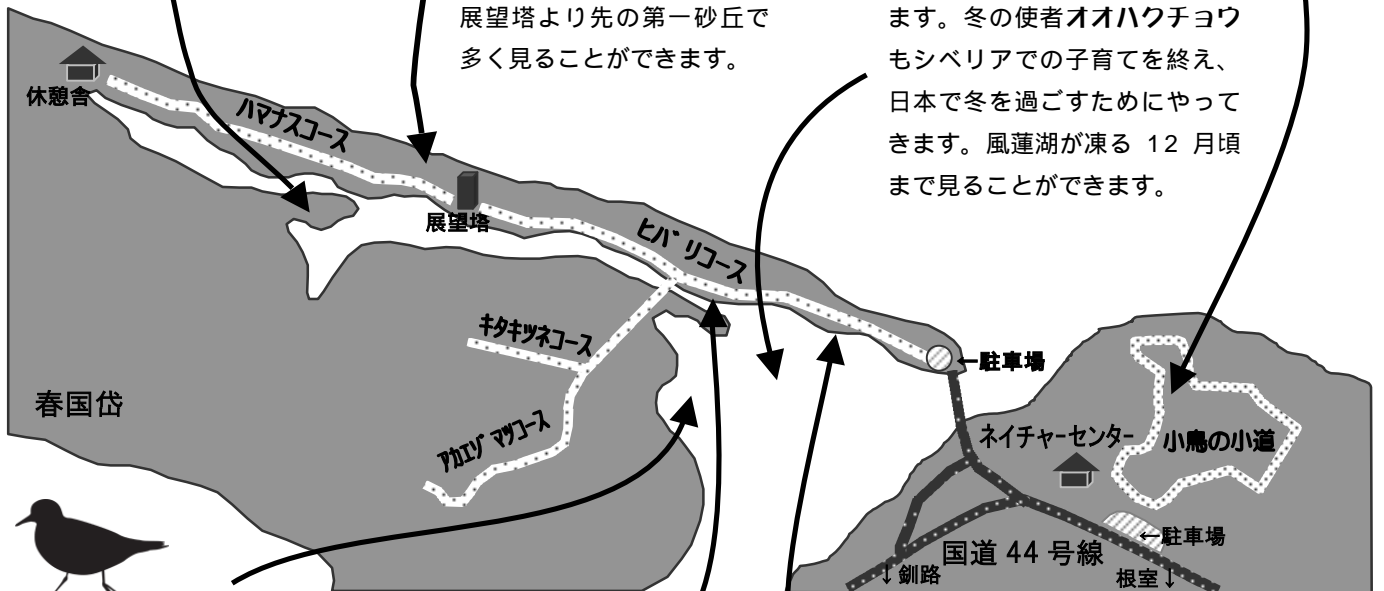
オオハクチョウ



カモの仲間



湖や沼にカモの仲間が渡ってきます。冬の使者オオハクチョウもシベリアでの子育てを終え、日本で冬を過ごすためにやってきます。風蓮湖が凍る12月頃まで見ることができます。



トビの仲間



ハマシギ

干潮時の干潟や磯場、淡水湿地などに大小さまざまなシギやチドリがやってきます。9月上旬頃まで見ることができます。

アッケシソウ



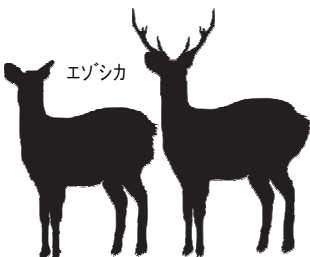
10月中旬頃になると、緑色だったアッケシソウが真っ赤に色づきます。木道の下や潮をかぶる塩湿地で見ることができます。

お花



花の季節の最後を、秋の花々が飾ります。ウンランやエゾオグルマをはじめ、紫色のウラギクやエゾリンドウなどが湿地や草原に色をそえます。

エゾシカ



エゾシカたちは、恋の季節を迎えます。春に生え変わった角は立派に成長し、オスはメスを獲得するために争います。

イベント・展示情報

10月のイベント

★春国岱・風蓮湖フィールド講座②

ヒグマを知ろう ～ヒグマと上手く付き合うために～

ヒグマは日本に生息する陸上動物の中で最も大きく、国内では北海道にしか生息していない野生動物です。根室でも毎年、ヒグマの糞や足跡などの目撃情報が寄せられており、過去には春国岱でもヒグマの痕跡が見つかっています。

ヒグマとは一体どんな動物なのか。ヒグマの生態や行動について正しく理解することは、不幸な事故を未然に防ぐことにも繋がります。

講師の方にヒグマの生態や行動、ヒグマの置かれている現状についてのお話しをしていただき、ヒグマと共存するために私たちができることを考えます。



講座の日程等詳細につきましては、決まり次第お知らせします。
お気軽にお問合せください。

【お申込み・お問合せ】 電話 0153-25-3047 (春国岱ネイチャーセンター)

団体の方へ～解説プログラムのご案内～

- 事前にお申し込みが必要です。
- 野外での解説は、学校など自然体験を目的とした団体などに限らせていただきます。
→詳細など、お問合せはネイチャーセンターにご連絡ください。(電話 0153-25-3047)



- ① 野外解説・自然学習 (～2時間 / ～20名)
- ② 春国岱の自然 (映像) (15分～25分 / ～45名)
- ③ 自然クイズラリー (約1時間 / ～50名)
- ④ タンチョウ、カモ類に関する学習ゲーム (30分～2時間 / ～20名)
- ⑤ 施設概要説明 (30分～2時間 / ～45名)



根室市春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

～メール配信のお願い～
ネイチャーセンターだよりをメール(PDF形式)で配信しています。経費削減のためご変更いただける方は、下記メールアドレスまで、ご自身のメールアドレスをお知らせ下さい。ご協力をお願いいたします。
連絡先: nemu_nc@marimo.or.jp
※ネイチャーセンターだよりは、ホームページ上でもご覧いただけます。



- 住所■ 〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地
- 電話■ 0153-25-3047 ■FAX■ 0153-25-8570
- HP■ http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html
- メール■ nemu_nc@marimo.or.jp
- 9月の開館時間■ 9:00～17:00
- 10月の開館時間■ 9:00～16:30
- 9・10月の休館日■ 9/2・9・16・24・25・30
10/7・13・14・21・28